



あかししきがいぎん
明石市議会議員

やさしい明石をこれからも
あかし ふくし はってん
明石の福祉のさらなる発展のために活動しています

かつどう

かつどうほうこく

後援会討議資料



冬
2026年



市民の会

かなおよしのぶ活動報告

12月本会議での一般質問の内容



いどうしえん
移動支援

障害(児)者の移動支援のさらなる充実について



移動支援事業は社会生活・社会参加をする上で、非常に大切な事業である。家族の事情により通学・通所が困難となれば、結果として自宅でごす、または短期入所を利用せざるを得ない。あるいは長年通った事業所を辞めて、送迎付きの事業所へ変更を余儀なくされるといった現実がある。定期的な通勤・通学に対して移動支援が対象外であるが、サービス等利用計画に基づいて、さらなる支援の充実ができないか。

障害の状態にかかわらず、住まいや通う場所、働く場所の変更はご本人にとって深刻な課題です。介護者による移動支援が一時的に提供できなくなった場合などには、より柔軟な対応と誰一人取残さないようにすること、生活の幅を広げていけるように支援継続を是非、検討していただきたい。

あかし
明石市から

通学・通所にかかる支援の充実について、ご家族や支援者からの要望があることは承知している。特定時間帯への利用集中による人材確保や財源確保などの課題があるため、制度拡充は慎重に検討する必要がある。今後は制度の趣旨を踏まえつつ、個別事情に配慮した柔軟な運用により外出支援に努めていく。

災害発生時における福祉避難所のさらなる充実について

福祉避難所の周知と平常時からの連携体制強化

今年度に入り、福祉避難所の設置数が大幅に増えたが、その役割や場所などについて、まだまだ市民には周知されていないのではないかな。

福祉避難所は、障害者や高齢者、妊産婦など要配慮者が利用することになる。これら、要配慮者のそれぞれの特性を理解し、必要な対応や備えをするために、平常時から地域の方や福祉関係者との連携が必要ではないかな。

あかし
明石市から

危険察知やSOS発信が困難な方への支援として、平常時から地域や関係機関と連携し、個別避難計画の作成や当事者団体と連携した避難訓練を継続する。あわせて見守りや非常時の連携を強化。また、「手を貸してください」と書かれたナップサックを防災訓練等で配布し、今後も普及と効果向上に取り組む。

福祉避難所における備蓄物資等のさらなる確保について

災害発生時に、福祉避難所で数日間を過ごすことを考えると食料・日用品等のほか、それぞれの要配慮者の特性に応じた備蓄物資も必要となる。

医療的ケアが必要な人の場合、特に電源確保が大きな課題となる。

また、要配慮者に同伴してくる支援者の食料等も必要。

さらなる備蓄物資や電気設備等などの確保をはじめ、福祉避難所同士の連携強化が必要ではないかな。

あかし
明石市から

要配慮者に配慮した物資確保や福祉用具供給体制の明確化を進め、非常用発電機等を整備する。あわせて福祉避難所間の連携強化を図り、関係機関と協力して、災害時に安心して避難できる体制づくりと備蓄物資の充実に取り組む。

あかし
明石市から

医療的ケアが必要な避難者に対する備えとして非常用発電機や蓄電池を確保する。付き添い支援者用の食料やベッドなどを市内の拠点となる避難所に設置をしていくことを計画。次年度に向け財政部局としっかり調整しながら必要な備えの予算の確保に努めたい。



さいがいじ
災害時のために
必要な備えを



あかし
明石市から配布の
「手をかけてください！」
と書かれたナップサック

住みなれた地域で安全・安心に暮らせる環境づくり

市内のスクールガードの現状と課題改善に向けての取組

スクールガードとして活動されている方々の高齢化が進み、人材確保、継続的な活動が困難に。今後の対応策は？

あかし市から
令和7年度にオレンジタオルを導入。約1300枚を配布。結果、65人が新規登録に。今後も広報やネット申込、メディア活用を通じて参加を促し、地域全体で子どもの安全を見守るスクールガードの活性化を進める。

スクールガードあかし
～地域の子どもは地域で守る～

子どもの見守りボランティア大募集

できる範囲で子どもの見守り、始めてみませんか？

お電話での応募、お問い合わせは
青少年教育担当
(078-918-5057)
または各小学校まで

ネットからもご応募可
QRコード

① 明石市教育委員会事務局 教育企画室 青少年教育担当

登下校時の不審者対応や地域での見守り活動の重要性

不審者の目撃情報を頻繁に聞く。現状の対応策・防止策は？

あかし市から
不審者情報を警察や学校と共有し、青色パトロールや巡回強化、防災行政無線による見守り呼びかけを行っています。
あわせて地域連絡会議で関係者が情報共有し、地域全体で子どもの安全確保に取り組んでおり、今後も連携を深めて継続していく。



9月～12月の活動 (一部をご紹介します)



いずみさほ さんざいんざいん つかいざいどうまゐ
泉房穂 参議院議員と国会議事堂前で



いずみさほ さんざいんざいん はしもとけいこ しゅうざいんざいん ふくし きょういく か
泉房穂 参議院議員と橋本慧悟 衆議院議員に福祉・教育に関わる要望書をわたす



うだ しげ やまなか しげ とも えきだち
上田 市議、山中 市議と共に駅立



こうべだいく みぞく とくべつしえんがっこう うんどうかい
神戸大学 付属 特別支援学校 運動会



堀川 諭 先生にお会いして支援について聞かせていただいた



あかししじょうようこう ふくしか ほうもん
明石商業高校 福祉科 訪問



やまやう しげいけあきひろ
プロ野球OBの芝池博明さんと



こぐまくらぶほっぺ訪問



こうべらさきびょういん しざつ
神戸白鷺病院 視察



あかしボランティアフェスタ

これからの活動について



山手台会館での個人報告会

日々の活動や個人報告会を通じて地域のお声を聞きながら、障がいのある方や高齢者、子どもを含む誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、福祉・防災・交通・教育・地域コミュニティなどの課題に引き続き取り組んでいきます。



かなおよしのぶ

〒674-0055 明石市大久保町緑が丘25-8
TEL (090)6669-2810 mail kanaofukushi@gmail.com

ホームページ、SNSから情報を発信しています
<https://kanaofukushi.jp>

かなおよしのぶ

検索

